

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 17 年 7 月 28 日 (2005.7.28)

【公開番号】特開 2003-205062(P2003-205062A)  
 【公開日】平成 15 年 7 月 22 日 (2003.7.22)  
 【出願番号】特願 2002-6332(P2002-6332)  
 【国際特許分類第 7 版】

A 6 3 F 5/04

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 1 E

A 6 3 F 5/04 5 1 2 E

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 12 月 15 日 (2004.12.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の可変表示手段において複数種の図柄を循環させて可変表示するとともに、該可変表示手段にて所定領域に停止された図柄が特定図柄である場合には特定遊技状態を付与するように構成した遊技機において、

前記可変表示手段は、外周面の周方向に複数種の図柄を順次付した少なくとも 1 つの回転体によって構成され、

前記回転体の内周側において、所定条件の成立に基づき表示対象を表示可能な対象表示手段を配置し、

前記回転体の周面の一部に、遊技者が前記表示対象を視認可能な少なくとも 1 つの視認領域を設けたことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

複数の前記対象表示手段が前記回転体の周方向に沿って配置されていることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記可変表示手段は、複数の前記回転体が併設されたものであって、

前記所定領域として、前記各回転体に付された前記図柄が停止可能な位置を結ぶ複数の有効ラインが設定され、

所定条件の成立に基づき、前記各回転体の視認領域が前記有効ラインに並んで停止可能なように構成されるとともに、

前記視認領域がいずれの前記有効ラインにおいても停止可能なように構成されていることを特徴とする請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記対象表示手段は、複数種の表示対象を可変表示可能なものであることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の遊技機。

【請求項 5】

遊技者に遊技価値を付与可能な遊技価値付与手段を備え、

少なくとも前記複数種の図柄のうち所定図柄が前記一有効ライン上に並んで停止した場合に、前記遊技価値付与に関する制御信号を前記遊技価値付与手段へ出力し、当該遊技価値付与手段に遊技価値付与を実行させる第 1 特定制御手段を備え、

前記対象表示手段は、複数種の表示対象を可変表示可能に構成され、  
前記対象表示手段を表示制御する第2特定制御手段を備え、  
前記第2特定制御手段は、  
前記複数種の表示対象を記憶する表示対象記憶手段と、  
所定条件の成立に基づき前記対象表示手段に表示する表示対象を抽選する表示対象抽選手段とを備え、

当該抽選結果に基づき、前記対象表示手段に前記表示対象を表示させるよう構成され、  
少なくとも前記一有効ラインに対応して並んだ前記各対象表示手段にそれぞれ所定の前記表示対象を表示した場合には、その旨を所定の制御信号として前記第1特定制御手段へ出力するよう構成され、

当該制御信号を入力した前記第1特定制御手段は、前記遊技価値付与に関する制御信号を前記遊技価値付与手段へ出力し、当該遊技価値付与手段に遊技価値付与を実行させるよう構成されていることを特徴とする請求項3に記載の遊技機。

【請求項6】

前記対象表示手段は、前記複数種の図柄の少なくとも1つに対応し、かつ、当該図柄の視覚的特徴を有する前記表示対象を表示可能とすることを特徴とする請求項1乃至5のいずれかに記載の遊技機。

【請求項7】

前記視認領域は、前記複数種の図柄のうち少なくとも1つの一部に画定されていることを特徴とする請求項1乃至6のいずれかに記載の遊技機。

【請求項8】

前記対象表示手段は、複数の発光体により構成された表示部を有する電氣的表示手段であることを特徴とする請求項1乃至7のいずれかに記載の遊技機。